

入野小学校 校長室だより

2015.1.9(金) No.33 文責：芝

新しい年と最後の学期

改めまして、新年おめでとうございます。本年も、どうかよろしく願いいたします。

今年は『冬らしい寒さ』のお正月でしたね。元日の夜など、我が家に続く坂道は「スキー場か」と言いたいような雪道でした。

新しい年がスタートし、学校も昨日1月8日から『新しいけれど最後の学期』が始まりました。インフルエンザを含めた健康上の理由やご家庭の事情などでお休みの人もいましたが、始業式には元気そうな顔が並びました。

始業式では、「3学期はとても短い学期」「ひとつずつ上の学年になるための準備の学期」というような話をし、特に5年生、そして6年生の最上級生としての活躍を期待する話をしたことでした。上級生の姿が下級生への大きな教育力ですし、そういう意味では何よりの“学校の財産”ですので…。

3学期の登校予定日数は52日間です。最も短い学期ですが、それぞれの学年のゴールに向けて、まずは元気に乗り切ってほしい、そして、充実した学期にしてほしいと願っているところです。

ところで、下の写真は今日の給食。献立表



によると『お祝いメニュー・かがみびらき』と書かれています。「ちらし寿司、ブリの照り焼き、よろこぶキュウリ、お雑煮、牛乳」という内容で、『よろこぶキュウリ』が「黒潮町学校給食センターの新メニュー」とのこと。このお便りの写真は白黒ですが、ホームページ上の『校長室だより』の写真はカラーです。給食センターの皆さんの日々のお仕事ぶりが感じられる内容ですので、ぜひ、ご覧になってください。

「今どきの若い人」の姿に…

私事で恐縮ですが、1月2日の午前中に出会った出来事です。

対向車線を走ってきた車が左に寄せて停車すると、運転していた若い男性が降り、反対方向に走り出しました。走る勢いが普通ではないので、「???'と男性の進行方向に視線を移すと、50mほど先に軽自動車が用水路に落ち、運転席を下にほぼ横倒しになっています。私も慌てて車を止めて用水路に向かいました。若い男性は道路から車に呼びかけましたが、返事がないため、次には水路に下り、幅10cmほどのコンクリートの隔壁の上を何mも歩いて近づいて車の中を確認していました。

結果から言えば、車内には人はおらず、よく見ると助手席側の扉にはハガキほどの紙に「事故処理中」を示すメッセージが書かれていましたから、少しホッとしたという出来事です。

事故車を運転していた方のケガの状況が分からないので良い内容の話はしにくいのですが、私はその若者の一連の行動を、ただ感心し感動して見ていました。今どきの若者もすごいではありませんか。聞くと、彼は消防署にお勤めとのこと。なるほど、だからあの機敏な動きなのか…。たとえ休暇中であっても、即座にこんな行動をとる、高い意識をもった人が地域の安全を守っている…。何か崇高な精神に触れた思いがした年の初めでした。